

Fuku Mimi かわらばん

2009年4月11日
発行者 SON東京 ファミリー委員会

今回は、アスリートへのインタビューをお送りします。
ファミリー委員会として、アスリートの意見をぜひご
紹介していきたいと思います。

3月29日、プログラム終了後に卓球(多摩)の社会人アスリートのお2人
(鈴木美枝子さんと山本聡子さん)にインタビューしました。(インタビュアーはファミリー委員長の前原です。)

Q1 二人ともプログラムを始めたのはいつから？

鈴木さん、以下敬称略S) 社会人になってから始めました。いつからかな～。
山本さん、以下敬称略Y) 私は3年目になります。



Q2 いい思い出とかスペシャルをやっていてよかったことは何かありますか？

S) 一昨年の熊本のナショナルゲームが一番の大きい大会だったけど・・・
Y) 友達ができてみんなに出会えたことです。このプログラムも鈴木さんが紹介してくれたんです。

Q3 卓球をやるようになったきっかけは？

S) スペシャルの前から卓球はやっていました。最初は遊びでしたから本格的に始めたのはスペシャルに入ってからです。
Y) 高校時代はバレーとバスケットをやっていました。卓球は体育の時間以外には特にやっていませんでした。

Q4 二人ともお仕事をしているんでしょう？

S) スペシャルのある日は2時まで仕事です。普段はスーパーでカゴのあとかたづけ、品出しとかして働いています。
Y) 人事総務の事務もお仕事をしています。



Q5 会社の人たちのスペシャルでの活動の理解はどうですか？

S) 大体(の人)は知っています。休みも大会とかの行事に合わせてとらせてもらっています。
Y) スペシャルをやっていることは皆知っています。

Q6 今のプログラムで困っていることは？

S) やはりコーチが少ないことかな。アスリートの割には。 Y) あとファミリーの数も少ないし、ボランティアの数も少ない。

Q7 二人ともコーチの代わりに球出しとかしてるもんね～

S) 少ないから～(笑) そうじゃなかったら(プログラムが)まわらないから。
Y) 自分の体調を見ながらコーチの補助をしたり、(アスリートとして)打ったりしています。



Q8 二人の今後の目標は何ですか？

S) 試合に勝ちたい。勝つために練習したいです。 Y) 目標としている大会でいい成績を挙げたいです。

代々木バスケⅡのアスリート、土屋 圭介さんから原稿をいただきました！

僕は、ABC-MARTで働いてから四年目になります。

ABC-MARTでは 靴のはたきがけ、鏡の清掃や入荷の片付け、在庫の戻し等の他に、細かい仕事等、色々やっています。

入荷した靴は、メーカー、色、サイズ別に全て分けて収納しないといけないので、シーズンの変り目は入荷が多く、とても忙しいです。

ABC-MARTは、社員の異動が多く店長も3人目になりますが、皆良い人ばかりなので、人が変わってもすぐに仲良くなれます。

御徒町には安くて美味しいお店が沢山あるので、お昼は毎日会社の人と食べに行っています。

休みの日には、サークルに行ったり、スペシャルのバスケットに行ったり、友達と遊びに出掛けたり、家にいる時はゲームをして、遊んでいます。

高校時代は、バスケが上手になりたかったので、代々木のバスケに一生懸命に通っていました。

就職してからは、他に普段会えない友達と一緒に、バスケが出来るのが楽しみです。

FUKUMIMIは月次開催のファミリー委員会で取り上げられた議題の報告、委員会にてでた意見、委員からでてきた提案等をわかりやすく読める「かわらばん」です。
ご意見やニュースを募集しております。ぜひ投稿をお願いします。

前原 聡

【インタビュー後記】

二人は卓球(多摩)の看板娘のアスリートです。社会人でもあり、時にはコーチをしてくれています。インタビューのなかでもコーチ(ボランティア)の少なさを笑いながら話してくれましたが、ホントに何とかしてあげたいです。誰かいませんか～。(前原)

【編集後記】

働きながら、大会めざして卓球に励む女性二人。なんだか、かっこいい！また、土屋さんは本当に楽しそうに仕事とバスケットをやって、うらやましいですね。